

ひょうご地域安全まちづくり

マモリンレポート

地域に欠かせない存在するために

尼崎東防犯協会 小中島支部 (尼崎市)



地域の子どもたちのためにできることを

東小 久谷・対田児童の安全見守り隊 (美方郡新温泉町)

特殊詐欺対策に、
録音機能を。 

電話に出たら犯人のペースに。自動録音機能で対策を。

特殊詐欺の約6割が、固定電話へのアプローチ。

その固定電話に自動録音機能をつけることが、効果的な防犯対策になると言われています。

事実、過去に逮捕した犯人からは、「声を録音されたくないから、

自動メッセージが流れたらすぐに電話を切っていた」等の供述が得られています。

兵庫県における事前警告機能付き通話録音装置の効果。

令和5年度、電話機に設置する通話録音装置2,181台の配布を行いました。

その対象者で被害を受けたという報告はありません(令和6年3月末時点)。

録音機能をつけることが、確かな防犯効果につながっています。

防犯意識が高まった。そんな結果も得られています。

2018年にも事前警告機能付きの録音装置の配布を実施しており、

以下はその利用者アンケート調査の結果です。

- 装置を設置して良かった 92.9% (1,652人)
- 迷惑電話がなくなった・減った 83.4% (1,484人)
- 防犯意識が高まった 91.2% (1,622人)

防犯意識の向上はもちろん、悪質なセールス電話などの防止につながっている点も大きな成果と言えます。

兵庫県では、自動録音電話機等の購入補助を行います。

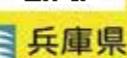
対象者

補助内容

65歳以上の方 ●自動録音電話機購入:上限10,000円 ●外付け録音機購入:上限5,000円

※制度詳細はお住まいの市町、または下記コールセンターにご確認ください。

自動録音電話機購入補助事業コールセンター(兵庫県くらし安全課内) ☎078-362-3225(平日9:00~17:30)



発行:ひょうご地域安全まちづくり推進協議会事務局

〒650-8567

神戸市中央区下山手通5-10-1 兵庫県県民生活部くらし安全課内
電話 (078) 362-3173 FAX (078) 362-4465

ひょうご地域安全まちづくり推進協議会とは

犯罪の防止その他安全で快適な暮らしを目指すための県民運動を推進し、犯罪のない安全で安心な兵庫県を実現するため、地域団体をはじめ、事業者や行政機関等で構成された協議会です。

(このマモリンレポートは、当協議会の会員である兵庫県遊技業協同組合の支援を得て作成しました。)



地域に欠かせない 存在するために

～尼崎東防犯協会 小中島支部～

あいさつから広がる親交の輪

当支部では、平成20年に社会福祉協議会や学校、地域の企業と連携して「さわやかあいさつの会」を発足させました。

あいさつを通じて住民同士や地域の親交を深める「さわやかあいさつ運動」を推進し、地域全体をワイワイした明るい雰囲気にすることで不審者が入りにくい地域を作り、安全安心なコミュニティの醸成を図る等、地区やまち全体で防犯意識を高める活動を展開しています。

毎年、地域の小中高生を対象に「さわやかあいさつ運動」をテーマとしたポスターコンクールを開催し、園田地区のフェスティバルで表彰式を行っています。

地域の行事では、こいのぼりフェスタやグランドゴルフ大会、盆踊り、秋祭りなどの様々なイベントを開催し、地域のコミュニティ向上を図っています。

また、支部役員が尼崎東警察署の「地域ふれあいの会」というボランティア団体に加入しており、活動を通じて多くの人と防犯情報を共有することで、地域実態に即した防犯活動を実施することができています。



様々な機関と連携したまちづくり



小学校をはじめ、様々な機関と連携して通学路における10カ所での見守り活動を毎日欠かさず実施しています。

また、見守り活動をする中で、危険な箇所がないかを常に意識しており、道路の白線の引き直しやグリーンベルトの設置など改善したい点があれば、対応方法を地元警察と協議検討の上、県・市議会議員に要望して行政にアプローチをしてもらうなど早期の改善に努め、通学路の安全確保に取り組んでいます。

見守り活動以外にも、多発している特殊詐欺警戒のためのATMやコンビニ、郵便局への毎日の立ち寄りや、行政が推進している「高齢者声掛け運動」に参画し、民生委員と連携しながら地区内の独居高齢者宅を訪問し、地区の包括支援センターと情報共有を行っています。

また、各機関との連携強化のための情報連絡会議を開催し、地域の現状などを記載した広報紙を作成し、回覧するなどして情報共有を図っています。

今後も各機関と連携しながら、安全安心なまちづくりのため、地域に欠かせない存在であり続けます。

グループの紹介

警察や行政、学校、企業など様々な機関と連携しながら、子どもの見守り活動、青少年育成活動、高齢者防犯対策など、地域全体で防犯意識の向上に努めています。

このような活動が評価され、「令和5年度地域安全まちづくり活動賞」を受賞しました。



地域の子どもたちの ためにできることを

～東小 久谷・対田児童の安全見守り隊～

地域の子どもたちは自分たちで守る

「久谷・対田地区」は、世帯数が100軒程の小さな地区で、児童数もかなり少なく、極少人数での登下校を余儀なくされている中、子どもたちは、小学校まで約1.5kmを徒歩で毎日約30分かけて通学します。

スクールバスを運用している地区もありますが、当地区は様々な課題があり、徒歩での通学となっているため、毎日子どもたちと一緒に登下校することで、安全確保に努めています。

毎日、往復約3kmの距離ですが、自分の健康のため、そして「地域の子どもたちは自分たちで守る」という気持ちで取り組んでいます。

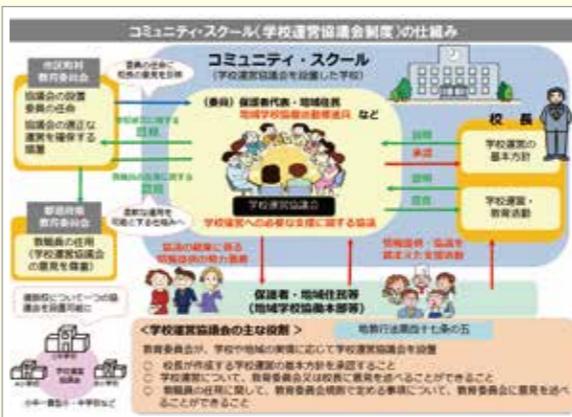
また毎月15日は、「安全見守りの日」と定め、保護者や先生たちも一緒に登下校します。

季節を問わず、野生動物の出没も頻繁にありますが、駐在所のお巡りさん達とも密に連携しながら子どもたちが安心して登下校できる環境を作っています。

これからも、みんなで力を合わせて、子どもたちの安全、そして「久谷・対田地区」の安全を守っていきたいと思います。



コミュニティ・スクール (CS) 制度の導入による地域とともにある学校づくり



令和4年度から地域の小学校がCS制度を導入しました。

CS制度とは、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともににある学校」への転換を図るための有効な制度です。

CS制度を導入し数年が経過しましたが、学校の教育方針についての会議に参加するなど地域と学校の距離が今まで以上に縮まり、より身近な存在となりました。

運動会や授業参観の日には、保護者だけではなく、地域の方を招待してくれたり、毎週木曜日には、

地域の方が学校に赴き本の読み聞かせをするなど、学校と地域との関わりが密にある環境となっています。

今後も、学校と連携しながら、地域とともにある学校づくりに励んでいきます。

【出典:文部科学省ホームページ(<https://www.mext.go.jp/>)】



グループの紹介

平成25年の発足以降、安全で安心なまちづくりをめざし、学校や警察と連携しながら、見守り隊全員が「地域の子どもたちは自分たちで守る」という気持ちで毎日の活動に取り組んでいます。

このような活動が評価され、「令和5年度地域安全まちづくり活動賞」を受賞しました。